

これからの時代をたくましく生きる力とは

- 中学時代に学んでほしいこと -

開倫塾

塾長 林 明夫

(経済同友会 会員)

Q1：好きなことばは何ですか。その意味は何ですか。

A：(林明夫：以下省略)「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

Q2：どうしてこの職業に就きたいと思ったのですか。

A：「大学生時代に刑務所に視察に行ったとき、ちゃんと勉強さえしていればこのようなところに来なくても済む人々ばかりなのにと刑務官から言われ、基礎教育の大切さを痛感したため。」

Q3：仕事の内容はどのようなもので、やりがいと苦労はどのようなことですか。

A：(1)株式会社 開倫塾(代表取締役社長)

「学校教育の不足するものを補うことと、一流校(塾生一人ひとりの行きたい学校)への合格を果たすこと」

(2)マニー株式会社(社外取締役)

「手術用縫合針製造—世界の製品を世界のすみずみに—」

(3)学校法人友朋学園 東日本高等学院(理事長)

「不登校であった生徒の高等学校」

(4)宇都宮大学大学院工学研究科(客員教授)

「大学院生の教育」

*いずれも企業や学校としての社会的使命(mission ミッション)を果たし、一人ひとりの人生の成功と社会の持続的な発展に貢献すること。

Q4：仕事をする上で一番気をつかうことは、どのようなことですか。

A：「そこで働いたり、学ぶ人々一人ひとりが、潜在能力や可能性に自ら気付き、生き生きと活動するにはどうしたらよいか。」

Q5：この仕事に就いてよかったことやつらかったこと、成功談や失敗談などを含めて教訓がありましたら教えて下さい。

A : (1)笑顔で元気よく働いたり、学んだりする姿を見ること。
(2)仕事や勉強をして多様な選択肢をもつ人生を歩むこと。
(3)人の死、事件、事故にあうのはつらい。

Q 6 : (1)「社員として一番必要とする人」とは、また、(2)「必要としない人」とはどのような人ですか。

A : (1)顧客(相手)の立場に立ち、最後まで粘り強く業務を全(まっ)とうできる人。
(2)仕事の上での能力がいつまでも身につかない人。

Q 7 : 社会人として身につけてほしいのは、どのようなことですか。

A : (1)自律的に行動できる能力(高い志をもって)
(2)多様な集団で行動できる能力(英語は大事)
(3)知識・情報・技術などを相互作用的に用いる能力(コンピュータは大事)

Q 8 : 中学生の頃の夢は何であり、どのような生活をしていましたか。

A : 「弁護士か外交官になること。そのために勉強すること。」

Q 9 : 中学時代に熱中したものはありましたか。それはどのようなものでしたか。

A : 「柔道」と「生徒会活動」

Q 10 : (1)中学生の時の得意科目は何でしたか。どのようにしたら得意になるのですか。また、
(2)不得意科目をどのように改善しましたか。

A : (1)英語、国語、社会は、よく予習をして授業に臨んだ。試験前に教科書を音読練習と書き取り練習をしてスミからスミまで覚えたので得意だった。
(2)数学と理科は、参考書を読み理解が不十分なところを補った。数学は同じ問題を何回もやり直した。理科は実験・観察にどんどん参加した。

Q 11 : 中学時代の楽しい思い出や失敗したことはありますか。教えて下さい。

A : (1)クラスの仲間は皆仲良く楽しかった。中でも、修学旅行は楽しかった。
(2)部活動が極めて盛んだったが、荒れていた生徒も多かったのが気がかりだった。

Q 12 : 中学生の時に将来やりたいことを考えていましたか。また、高校を決めるときに何を参考にしましたか。

A : 弁護士か外交官になりたかったので、その試験に合格できる大学に進学する必要があった。そのような大学に入るために、普通科の進学校である足利高校に進学を決意。

Q 13 : 自分の夢を叶えるためには、どのようにしたらよいですか。中学生の頃にぜひ心がけるべきものがありましたら教えて下さい。

A : (1)ノートに「私は になる」「私は のような人生を送る」と自分の夢を書き、小

- さな声でもよいから毎日1回は声を出して読み続けること。
- (2)自分の夢に関しての「新聞記事」を毎日読み続けること。記事を切り抜き、何回も読み返すこと。
- (3)自分の夢に関しての本も、誰に遠慮することなくどんどん読むこと。本は6回は読み、大切なことは書き抜いておくこと。(「書き抜き読書ノート」をつくること)

Q14: 今までに一番つらかったこと、楽しかったこと、思い出に残るエピソードはどんなことですか。

- A: (1)人の死や事件、事故、今までやっていた仕事を辞めることはつらい。
- (2)人々の笑顔を見るのは楽しい。
- (3)毎日が、思い出とエピソードにあふれる(一日一生、一期一会)。

Q15: 経営者として、日頃お考えになっていることは何ですか。

- A: 世の中の激しい動きにどう対応していくか。

Q16: 人間として大切な(1)資質や(2)生き方は何ですか。

- A: (1) 躰(しつけ)を身につけていること。
美しい立ち居振る舞い 敬語表現を含む言葉遣い
- (2) 教育ある人を目指すこと。
教育ある人とは一生学び続ける人
- (3) そのためには、学び方を学ぶ(Learning To Learn ラーニング・トゥ・ラーン)能力を身につけること。

Q17: これからの時代をたくましく生きる力とは何ですか。

- A: (1) これからの時代は超高齢化時代です。健康(身体健康、心の健康)に十分気をつければ多くの人々が100歳以上まで生きられる時代に突入しました。
- (2) そこで、これからの時代をたくましく生きる力とは「いつまでも若々しく生きる力」だと私は考えます。

Q18: 中学時代に学んでほしいことは何ですか。

- A: (1) 学校での全教科の勉強をしっかり身につけることです。
- (2) 学校での教科以外の活動にも積極的に取り組むことです。
* 学校での教科の勉強、活動は社会に出てすべて役立ちます。
- (3) 家族、友人、学校、墨田区、東京、日本、アジアのよさを自分の力で見出すこと。自分のよさを自分の力で見出すこと。よいところを自分の力で伸ばすこと。(改めるべきことはどんどん改める)

御清聴を感謝します
—2009年7月7日記—